

現況分析における顕著な変化に ついての説明書

研 究

平成 2 2 年 6 月

香川大学

目 次

4. 医学部・医学系研究科	1
---------------	---

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育/研究)

法人名 香川大学

学部・研究科等名

医学部・医学系研究科

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

事例2 研究組織および支援体制の整備（分析項目Ⅰ）

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

医学系研究科では、生命科学の急速な進歩と教育研究内容の高度化に見合った教育研究内容の一層の充実を図るとともに、学術研究の進展や社会の変化に機動的に対応し、研究基盤の更なる強化を図るため、平成 15 年 4 月に研究組織の機能的再編（環境生態系専攻を社会環境病態医学専攻に、生体制御系専攻を分子情報制御医学専攻に、形態・細胞機能系専攻を機能構築医学専攻に変更）を実施し、例えば、がん・糖尿病・腎臓病の発生・進展・予後予測等の研究などで優れた効果を上げている。

平成21年度に、医学部と工学部が連携し、「医学・工学・情報」の各領域の研究を融合させた最先端医療研究の実行を目指すため「医工情報領域融合による新産業創出拠点」を設立した（資料1）。

これは、医学部の臨床研究・バイオ研究と広域医療ネットワークとして既に稼働している「かがわ遠隔医療ネットワーク」等と工学部のデバイス技術を組み合わせ、医療・工学・情報領域研究者の異分野交流を通じて、新しい技術開発の実施、企業との共同研究の推進、成果の創出、商品化への橋渡しなどの事業を、大学が中心となり、香川県、産業界と協力して進めていくものであり、平成21年度に地域産学官共同研究拠点整備事業(科学技術振興機構実施事業)に採択された。中赤外線を使用した結像型二次元フーリエ分光技術の開発が、平成21年度にJST先端技術分析技術・機器開発事業に採択されるなど、本拠点を利用して関連医療検査機器の開発を進めている。さらに、本事業によって開発される研究シーズの実用化も含め、より効率的に臨床研究が行えるよう、平成21年度に医学部附属病院内に「先端医療開発センター」を設立することを決定した(資料2)。

資料 1



資料 2

